

中部ニユース

シネスコ版

高知 = 2-ス No. 373

No. 538

39. 7. - 8

新慶媛 = 2-ス No. 201

一、健やかにはじらつと

—— 子どもの日

五月五日は「こどもの日」、子供の人格を重んじ、子供の幸福をはかる日です。ここ東京の新宿御苑では、都内の子供会や、海洋少年団、ボーイスカウトなどの団体による「子供ガードンパーティ」が盛大に催されました。おりからの空模様にもかかわらず、子供たちは元気いっぱい、自慢の隠し芸などを披露します。こうして良い子たちは楽しい「こどもの日」を過ごしました。

一、御気軽にどうぞ!!

—— 東京・愛知・山梨

いまや世を挙げてインスタントブーム。悩み多き婦人方には電子頭脳が化粧の秘訣を即座に伝授。現代の心得え、ゴルフもひと振りすれば室内でグリーンのムードを味わえます。そして今のところゴルフに手の届かぬむきには五十円一個で気軽に一杯いける銘酒「コイナ」も出現。美人なしでも安心してうまい酒は飲めるといふもの。このようにインスタント万能の風潮を反影して、暮らしのうち、殊に食生活に占めるインスタント食品は飛ぶような売れ行き。メーカーは量産に大奮らわ。一方行楽地では馬子さんが自転車に乗って馬を曳き、足で登る富士山は快適な登山自動車道路が開通して都会並みのラッシュ。だが相にくの雨。何ごとも気軽にいってもお天気だけはインスタントというわけにはいかないようです。

アイモ風土記

一、高知

明るく太陽のもとにひろがる南国土佐は高知。古くより山内一豊の城下町として栄え、坂本竜馬をはじめ明治維新に大きな力となった人々を育ててきたところだ。

人口二十万の近代的都市高知。だがいまわが国産業ベルト地帯から遠くはずれのためか他にみられぬどこかのどかな南国ムードにあふれているのです。

土佐名物のシャモに長尾鶏、の対照、これは動評騒動や紀元節校長さんと右に左になかなか対立的な土佐つば気質が鳥にもみられるようです。

まさにこの対立こそ土佐の真骨頂だといえるし歴史の変革期に大くの人物を輩出したところなのではないでしょうか。

そうしてこちらは南国土佐のメロデーに高知をしながらやってきた観光客にご気遣をとりむすぶ土佐犬、かつての闘将もご婦人のなかにあつてはその影もどこえやらひたすら観光高知のお役に立っているのです。

とりたてて観光資源のない高知に動物は大切な観光のにな手といえましよう。

6330R

3090R

2440R

800R

製作 中部日本新聞 東京中日新聞
配給 北陸中日新聞 中部日本ニュース映画社